

高萩市地域福祉計画及び高萩市地域福祉活動計画策定にあたって

21世紀に突入したのは、つい先日のように感じます。しかし、間もなく五分の1世紀を迎えようとしており、月日の流れを本当に早く感じます。

21世紀を境に、大きな変化があったと感じるものの1つに携帯電話があります。携帯電話は21世紀直前に手のひらサイズとなり、コミュニケーションツールの一つとして普及し出しました。21世紀に入り、iPhoneやスマートフォンが出現し、電話機能に追加して、本格的なコンピューター機能が搭載されました。



生活の中でのコンピューター化も進んでいます。ロボット掃除機が登場したのも21世紀直前でした。ロボット掃除機は、発売当初から話題に上がっていましたが、現在では使用者が増えているようで、掃除機としての認知が広がっているように思います。

このように私自身の生活を見回すと、コンピューター技術が生活に随分浸透していると、今更ながらに驚きます。そして、将来、コンピューターやロボットに囲まれた便利な生活を、つい想像してしまいます。21世紀は、私たちの生活に本格的にロボットが入ってくる世紀になるかもしれませんね。

このコンピューター技術や科学技術などの進歩は、私たちの生活様式に少なからず影響を及ぼしています。それは、人と人の付き合い方に対しても同様でしょう。便利になったと感じる反面、個人個人で解決できる事が増えると、かえって人恋しくなったりもします。その昔、家族の目を気にしながら、長電話を楽しんでいた頃を懐かしく思い出します。

科学技術がいくら進歩しても、私たち人と人のつながりは消えません。ともすると、つながりが希薄になったと感じることもありますが、嬉しいメールは何度も読み返し、しばし、暖かい気持ちを楽しみます。現代風につながり方でしっかりつながっていると安心します。

地域社会におけるつながり方も、現代風につながり方に变化しているのだと感じます。本計画では、理念である「みんなで支え合う豊かな福祉のまちづくり」の現代風の仕組みづくりを目指しています。高萩市ならではの現代風につながりに基づいたまちづくりに貢献できるものと、大いに期待しています。

平成29年3月

高萩市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会委員長

茨城キリスト教大学生生活科学部教授

富 樫 ひとみ